

☆ひとが育つまちづくり☆

野口ようすけと通信

星のまち ほつと



発行日: 2011年 8月
発行人: 野口陽輔

野口の決意 —夢と希望のあるまちへ—



平素より多大なるご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。交野市議会議員の野口ようすけです。

今号のほつと通信では、交野市を「夢と希望のあるまち」にするために、市議会議員としてこれから何をなすべきか、私の課題認識と、今後への決意を述べさせていただきます。

私の課題認識

進む少子高齢化 国の推計によると、交野市は、2025年には、年少人口が全体の11%、生産人口が全体の59%、高齢人口が全体の30%を占めることとなります。子育て・教育環境の整備や高齢者福祉の充実を図っていくのはもちろん、生産人口(労働者)が減ることによる税収減懸念されるため、財政の健全化を早急に図る必要があります。

計画的な都市整備 2010年3月20日に第二京阪国道が全線開通しました。今後は、インター付近のまちづくりを計画的に行い、交野市の活性化に役立てていく必要があります。一方、第二京阪国道周辺における交通事故や犯罪の増加など新たな課題に対して、交野市内の安全対策の体制づくりの更なる強化を図る必要があります。

市民の生命と財産を守る 近年、台風や地震などの大規模災害が多く発生しております。交野市も更なる地域防災計画の見直しが必要です。特に非常時における行政による迅速な情報の収集と発信、強力なリーダーシップが重要です。また、平時からの地域コミュニティの絆も大切です。市民の生命と財産を守るための体制づくりの更なる強化を図る必要があります。

未来への責任を果たすために

私の仕事は、「本当に正しいこと」、「本当に必要なこと」を考え抜くことから始まります。これからも、教育改革、文化・スポーツ振興、環境保護の取り組みを柱とし、市民の皆様の声に耳を傾け、市議会議員として素直な心で地域活動や政策実現に精一杯取り組んで参ります。

市民の皆様と共に地域活動に取り組む中で、人と人との“つながり”や“きずな”を深め、自然と共に生き、心の豊かさを実感できるまちを築いて参ります。

また、政策を実現するために「議会」の中でしっかりと議論し、野口の想いを伝えることで賛成を得て、夢と希望のある交野市の実現に向けたまちづくりを一歩ずつ進めてまいります。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

